

北海道新聞

2005年

9月17日 土

発行所

北海道新聞社

〒060-8711
札幌市中央区大通西3丁目-6
電話 011(221)2111

NIE推進センター

電話 011-210-5802

ホームページ

www.doshin-nie.com

フムフム館

〒061-1274
北広島市大曲工業団地 8-2-1
電話 011(370)3737

雨竜っ子 わくわく体験

はがきを作ったよ

「速い！」新聞印刷も見学

初めての紙すき体験と工場見学、そして新聞づくり。
三連休初日の17日、雨竜町内の子供たちが教育委員会主催の「ちびっこチャレンジ教室」で旭川市を訪れ、日本製紙と北海道新聞社の工場見学を楽しみました。

4年の遠藤崇志君、東萌未さんら23人。午前8時半に町のバスに乗って公民館を出発し、午前中は日本製紙旭川工場のリサイクルプラザ「紙遊館」の紙すき体験に挑戦しました。

鍋で煮て柔らかくなったパックのフィルムをはがしたあと、ミキサーでかくはんし、手すき棒で原料をすくい、アイロンで乾燥させると出来上がり。全員、ワイワイガヤガヤ、笑顔がいっぱい広がりました。郵便番号などのスタンプを押してはがきに仕上げました。

紙すき体験に挑戦する子供たち



道新旭川印刷輪転機前で記念撮影



新聞を学校の授業の教材として使うNIE(エヌ・アイ・イー)という活動が今、全国各地の教育現場と新聞社によって進められています。NIEは「教育に新聞を」という英語を短くした言葉。この活動

記者が学校でお話しします

をとおし、金道の子供たちに新聞について知ってもらいたい。そんな願いをこめ、私たちは本支社や印刷工場見学のほか、各学校に記

者を派遣し、新聞についてお話しする「出前講座」を受け付けています。
費用はかかりません。お問い合わせ、お申し込みは北海道新聞NIE事務局(011-210-5802)へ。

紙すき体験のあと、製紙工場を見学し、昼食後、今度は道新旭川印刷へ。
「すごい速さだね。北海道新聞の夕刊が猛スピードで印刷されてゆくさまに目を見張り、歓声が上がりました。」



札幌から駆けつけた「ぶんぶん号」

見学後は、いよいよ新聞づくり。休憩時間やバスの中で書いた感想をパソコンですぐに入力、さらにデジタルで撮った写真を取り込んだあと、見出しをつけました。この日のために、マイクロボスを改造した「道

新ぶんぶん」号が札幌本社から出勤し、その場で印刷してくれたので、またたく間に仕上げました。
刷り上がったばかりの号外新聞を手にした子供たちは目を輝かせ、丹念に読んでいました。

すごくおもしろかったです。2年 池田 梨乃
かみすきのこうじょうはくさかったです。かみすきはソクおもしろかったです。こんどははがきができたらもういちどいきたいと思います。
きかいがいっぱい 2年 山本 里葉
工場はくさかったです。でも

せつめいはじめてだったけど、わかりやすかったです。テレビでせつめいしてくれたのでわかりやすかったです。きかいがいっぱいあったので名前がわかりやすかったです。
おもしろかった 2年 五十嵐 拓也
くそくははやくかったです。かみすきはおもしろかったです。
今年6回目となる今回の「ちびっこチャレンジ教室」では、旭川市にある日本製紙の工場を訪問し紙すきにチャレンジした後、工場を見学させていただきました▼紙が作られている様子を見学し、実際に自分の力で作ってみてという感想を持ったでしょうか。たぶん、みなさんの身近にある紙が多くの工程により作られていることや、はがきの大きさの紙を作るのにも、たくさんのお作業や苦労が必要だということがわかったと思います▼みなさんが学校で使っている教科書やノート、ティッシュなどの日用品など、紙は私たちの生活になくてはならないものとなっています。しかしながら紙は貴重な資源です。そして資源とは限りあるものなのです▼限りある資源を有効活用するためにも、これまで以上に紙のリサイクルに感心を持ってみてはどうでしょうか。今回の教室で何かひとつでも学び感心したことがあったとしたら、参加した意味は大きいと思います▼このことをきっかけに、今日から紙のリサイクルに少しでも取り組んでみてはどうでしょうか。みなさんならできると思っています。
(雨竜町教委 先名輝彦)

コラム